

7月初め女川・名取で交流会

東北支援5次チーム 近くメンバー公募

グループ〈わ〉は第5次東北支援チームを7月2～7日の日程で女川・仙台・名取へ派遣します。派遣人数は8人程度。第2～4次で顔なじみになった小学校・保育所・仮設住宅を再訪、昔遊びや七夕飾り制作・スポーツ大会、手料理交流会を実施します。メンバーは5月中旬に公募します。（広報・南形徹）

第5次チームも、しあわせの村の福祉振興協会・仙台の豊齢学園と共同歩調をとろうと、日程・訪問先・活動内容を調整しており、5月中にはプランを策定。同時に派遣メンバー4、5人を公募、面談して決定します。派遣費用は福祉医療機構の助成金や皆さまから寄せられた「サポート募金」を活用します。

女川・名取へは第2次～4次チームも訪れています。仮設の皆さんや子供たちとも顔なじみになっていることや、現地の学校、復興センター関係者からも「毎年来てほしい」との要請があり、今回も訪問することになりました。

仙台豊齢とも協働で

豊齢学園は仙台の生涯学習施設。第4次で料理・スポーツ・七夕飾り制作などを一緒にやったところ好評で、第5次も連携することにしたものです。仙台豊齢は、3・4月が春休みなので、詳細は未定です。

第5次支援活動については、1月の理事会で派遣を決定。東北プロジェクトチーム（幹事・海野龍英）が派遣準備や仙台側との調整に当たっています。

【主な訪問予定先と活動内容】女川小・女川第1・第4保育所で昔遊び、七夕飾り制作。女川清水仮設住宅で手料理交流会。女川体育館でディスコン（軽スポーツ）大会。名取市閑上小・増田保育所で昔遊び。福祉振興協会とは7月3日に女川で、4日に名取で、一緒に活動する予定です。

震災イベントに〈わ〉が出演

〈神戸から東日本へ〉をテーマに、神戸の震災支援ボランティア活動を紹介するパネル写真展が、3月10日から28日まで市民福祉交流センター（中央区）で開催され、連日、市民でにぎわいました。展示は、支援活動を激写した約50枚の写真で、グループ〈わ〉、



神戸・市民交流会など5団体が提供。ボランティア活動の大切さを訴えています。

初日の10日には実演ライブがあり、〈わ〉の東北支援チームのメンバーが、三味線・大道芸・マジック・銭太鼓を披露。盛んな拍手を浴びていました。この後、震災を読みつなぐ会KOBÉが東北の子供たちや被災者の作文を朗読。「花は咲く」を参加者全員で歌って散会しました。

この催しは、神戸市社会福祉協議会が主催。実演ライブには〈わ〉から次のメンバーが参加しました。南形徹・海野龍英・波多野武郎・増金スミ子・片岡隆夫・横井幸雄・井上英男・古後健一・三浦良子・南形公子・阿部和子・筒井ちなみ・林弥生・片山成子・味口ヒサ子・木下完治・久保正志・橋野美子。

（敬称略）＝①の写真は神戸市社協で行われた震災支援活動ライブで演奏する銭太鼓グループ

●東北支援プロジェクト26年度メンバー

グループ〈わ〉の東北支援活動は26年度も継続します。本部にプロジェクトチームを設置、支援チーム派遣や震災関連イベントの立案・準備にあたります。26年度のプロジェクトメンバーは以下の皆さんです。▽堺汎・古後健一・海野龍英・南形徹、内村ナナ子（以上わ本部）、大澤貞男（生13）・波多野武郎（食16）・橋野美子（一般）・増金スミ子（福11）